

この会報は連絡用に「団長の手紙」としてスタートしました。その後名称を変えて「赤い靴通信」となり、33年間みなさまにお届け続けてまいりました。そして今回400号を迎えました。400と言う数字には少々思い出があります。次の冒頭の言葉ですが、昔の軍歌の一つで「元寇(げんこう)の乱」と記憶しています。

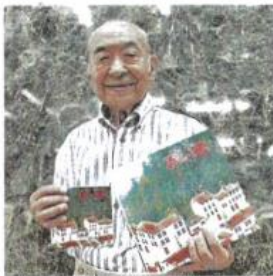
四百余州(しひやくよしゅう)を挙(こぞ)る十万余騎の敵 国難(こころ)に見る 公安四年夏の頃 多々良浜辺の戎(えびす) そはなんぞ 蒙古勢傲慢無礼者 俱(とも)に天を載(いた)だかず。これは2度の蒙古来襲を追い返した北條早雲を称える歌ですが、今だにリズムに乗って歌詞が出てきます。今更ですが、四百余州がこの国を知らなくなりしました。今や便利なパソコンで検索すると、当時の中国の州の数と分かりました。この歌を思い出すと、その頃わたしは15歳の飛行学校生徒でした。同期生は4600名おりました。操縦生(1500名・立川)通信士(1500名・大分)整備士(1500名・滋賀)がおりました。ある日、国語の教官が見えてそれぞれの出身の英雄をテーマに文章を書けというのです。生徒の出身地は、内地の都道府県、当時 日本領地の朝鮮(今の韓国・北朝鮮)、台湾、南洋群島でした。文字数は、3000字以内、締め切り・2ヶ月以内、出身地毎に、最優秀賞には文部大臣賞、他に際立って良いものに陸軍大臣賞3名が選ばれることでした。この話を聞いた私はウキウキしてきました。私には北條早雲と足柄山の金太郎がすでにあって理解していたからです。そして、2つの賞を狙っておりました。

クビライハーンが始めて日本を攻めて来た時に神風が起り難を逃れますが、どのようなときでも日本国は神風によって守られると信じられていました。迎え撃つ北條早雲は「敵の考えは解っている。前に殺すもあとに殺すも同じだ。」彼の国盗り合戦は、大将には情などいらぬ理論です。時代は違いますが、確かに太平洋戦争はそこまで来ていたのです。

表彰式その日、学校長以下正装の将校たちが並ぶ前で、「四百余州の十万余騎の敵」が文部大臣賞、「マサカリヤ金太郎」が陸軍大臣賞に選ばれ、賞状を頂きました。声は出さなけれど、「やったー」と心の中で叫びました。軍隊生活で物を書く時間はありませんでした。夜30分の自習時間をあてました。今でもよく書いたなどと思いません。

先日、こどもミュージカルで主役を務めた北川海仁君(通称キタミナ君)のお母さんから2冊の本が送られてきました。お母さんが勤めておられる神奈川ロータリクラブ・メンバーのお二方の著書でした。一冊は鈴木興巳(まつみ)先生、もう一冊は田川光先生のものでした。大分前ですが、お二方が所属されているクラブの例会にゲス

## みなと & わたし ■「赤い靴」34年ぶり縮刷版で復刊 絵本の中で生き続ける



絵本「赤い靴」の作者、松永春さん。左が復刊本

理由は幼少期にさかのぼる。山手にあった幼稚園の米国人の先生が同年ほどの娘を連れ、横浜港から帰国した。金髪の女の子。その面影を以来、野口雨情の歌詞とともに追想する。「彼女は、どうしているかな」縮刷版「赤い靴」は、横浜土産を企画・販売するエクスポートが1月に発行。330円。(川島 秀宜)

く横浜の埠頭から船に乗って、異人さんにつれられて行った。童謡で歌われる「女の子」の物語を描いた絶版の絵本『赤い靴』が、34年ぶりに縮刷版として復刊された。作者の松永春さん(91)は「女の子はこれからも絵本の中で生き続けるでしょう」と喜ぶ。41年前から山下公園にある「女の子の像」の建立に導いたのも、松永さんだ。物語に魅せられた

絵本「赤い靴」は赤い靴関係の方には300円で販売させていただきます。

### 今後のスケジュール

- ★8/9(日) こども未来ミュージック・プログラム オペラ「おおきななぶ」 中学生まで500円・高校生以上2,000円 みなとみらい大ホール 11時～12時 出演：赤い靴ミュージカルキッズ
- ★8/21(金) 第14回東六冠 元町霧笛楼 11時～13時 ザ・シワクチャーズ横浜、横浜☆男声合唱団
- ★9/12(土) 第33期「赤い靴ジュニアコーラス定期演奏会」 横浜市開港記念会館 赤い靴ジュニアコーラス/ATF・青隊・赤隊 横浜☆男声合唱団
- ★9/13(日) 朗読劇「ことばの贈りもの」 仮称 横浜市開港記念会館 横浜市民こどもミュージカル2020メンバー
- ★9/21(月・祝) 中区ダンスフェスティバル2020 関内大ホール/入場料600円 第1部13時～、第2部18時～
- ★10/9(金) 延期開催 横濱シネマパラダイス 懐かしいヨコハマの風景と流行の映画音楽 横浜みなとみらい大ホール 15時開演 新日本フィルハーモニー ナビゲーター 池田晋一朗(作曲家) ドラマトゥルク 中村高寛(映画監督) ゲスト 松永春(赤い靴事業団・団長)
- ★10/17(土)・10/18(日) オペラ「トゥーランドット」 神奈川県民ホール・大ホール 出演：赤い靴ジュニアコーラス ※赤い靴関係者割引があります

トスピーカーとして、招かれたことがありますが、その折りのお話の内容がご縁で、いまだに思い出して下さって有り難いことです。

わたしの童話も3冊が出版され、「赤い靴」は40年近く売れ続けています。昨年、山下公園の「赤い靴はいた女の子の像」誕生40年を記念して、こどもミュージカル「ワタシノユメ」で誕生物語が上演されました。その舞台小道具で「赤い靴」ミニ絵本を作り、使ったところ好評で、デザイン会社「エクスポート」の目にとまり、忽ち商品化されたのです。そして、先日はタウンニュース社で、今回は神奈川新聞社で記事となりました。新たにミニ絵本の読者が広がるのは喜びです。

柳原良平先生の絵による「青い目の人形」も、将来ミニ絵本になる夢を見えています。「青い目の人形」は横浜市の中学校の道徳の本に載ったことがあります。3冊目は「ミケ・ラン・ジェロ」という横浜猫物語でミュージカルにもなっています。今「おにぎりさつちゃん」の童話を書いています。おにぎりには6000年の歴史あります。縄文時代に稲作を始めた頃からあるのです。それで鈴木先生の著書ですが、「今に潜む縄文の心 日本人とは何か物語」です。日本人の歴史書で興味深い内容です。何か先生の本に近づいていませぬ。もう一冊の田川先生の「女大夫(おんななびょうぶ)大浦お慶」ですが、全く同一人物のミュージカル化を構想していた矢先のことで本当に驚きました。横浜でイギリスへの日本茶の輸出に大貢献した女傑の物語です。この著書にて、ますますミュージカルへの意欲が増してきました。

さて、この度の「赤い靴通信400号」記念を祝って4名の方より素晴らしいメッセージをお寄せ頂きました。節目の記念号に華を添えて頂き心よりお礼を申し上げます。

2020・8・6

団長 松永春

一歩一歩あゆみつづけてふと振り返りましたら二〇二〇年、この世に生命をいただいで丁度百年。人生苦あり、楽ありと云う通り私の人生も色々な経験がありました。

三才で関東大震災に、そして戦争等々、幸にこの年まで病知らずで健康に恵まれた事、ありがたいの一言。関東大震災で、頭顔と大怪我血まみれの私に両親もこの子は助からないと思っていた相です。私流に今思えばその時の血と共に体の毒素が全部流されたおかげで、元気で過ごせた事とありがたいと思うばかりです。学生時代いつも皆勤賞で第一高女から時代の流れで神奈川女子師範は小学校教諭として、今もその頃の皆様と交流を、三年生の受持ちで授業の始まる前には必ず「すなお、がまん、なかよく」をよく輪唱してから、又男子生徒と共に横浜コンクールに「海」をうたつて優秀賞を受けた事、今ふり返り矢張り私は音楽が好きだったと。昭和十八年、結婚わずか四年で戦争のため死別。その時夫の姑から貴女も世の中落ち着いたら鎌倉彫をなさいと彫刻刀十五本を手渡され、これが私の鎌倉彫の始まりです。昭和二十七年縁あつて再婚、転勤族で東京・名古屋・大阪・四国と十六年列車通いで鎌倉彫、今思えば貴い日々でした。

昭和五十三年、漸く古巣横浜に、暫くしてシワクチャーズの合唱の事を知り芸大音楽科の弟に相談、東六先生はクラシック音楽、お姉さんぜひ入会をと、その頃私は鎌倉彫に熱中していたので一寸迷いましたが、ふと鎌倉彫は「静」、コーラスは「動」と決めて入会いたしました。東六先生の歌が大好きで楽しく歌いつづけて居りました。昭和六十三年、元気な母九十六才が体調をくずして入院時に苦しむ姿に三十六時間添い寝をして東六先生の「おやすみなさい」をうたいつづけました。「遠い旅路の船でさえも碇をおろすよ愛の港に：」横浜生まれの横浜育ちの母に「長い間ありがとう、碇をおろしてでもいいのよ」とその翌朝やすらかに旅立ちました。東六先生の「おやすみなさい」私の大好きなうたです。

合唱団に入って休む事なく楽しませて戴きましたが、私の鎌倉彫喜寿の個展を平成十年に済ませた直後から夫が体調を崩し入院十三年の介護に追われました。その折り看護婦さんから趣味はやめなideつづけて、の一言に彫も合唱もつづけられました。今一人になって楽しい事があると云うことありがたきに感謝です。平成二十七年、将来のことも考えて老人ホームに鎌倉彫の教室もまたコーラスもとホームと家との往來を条件に、私なりに快適な理想通りの日々。月三回のコーラスも楽しく、開港記念会館での歌の折り、ふと幼稚園の時ここで「ソラソラソラ兔のダンス」をうたいましたこと、三田先生と共に笑い出した事思い出です。又コーラスに鎌倉彫にと旅を共に楽しんだ事もなつかしい思い出。この様に楽しく過ごせたのも先生方そして皆様の支えあってこそとありがたいの一言で一杯です。元気で過ごすには自分の体は自分で守らなければと、私なりに朝にひるに 夕に体を動かす事欠かさず、大きな声で数をかぞえたりうたったりと・・・コロナの事件で時々のやすらぎのホームも「蒲田さんは外来者と同じ」と閉め出され、一人衣食住何とかこなして日々、歌・彫のおかげで退屈せず喜んで居ります。

人生苦あり楽ありこの年までへコタレズすごせた事、努力の賜物。ありがとう

**寿康** 令和二年始めに、円覚寺老師様からの二文字 やすらかに、年永らえた事はよろこばし事、そしておめでたいこととの意にありがたく感動の祝言葉。

・三十有余年 楽しく歌いつづけた シワクチャーズ

・七十年 刀あそびの 鎌倉彫のよろこび

共に私の宝物 手を合わせて感謝。

七月三十一日

蒲田 敏子

赤い靴通信400号、心から祝福申し上げます。特に松永様の際限なく広範な活躍の不滅の偉業を讃える金字塔です。

松永様の至誠・知性・度量・披山蓋世の雄ながらそれを感じさせぬ直向きさは、実に端倪致し兼ね、仰望する無尽の嘆賞者、協力者同様、唯々万斛の賛美に包まれるばかりです。春秋に富む松永少年の夢は赤い靴通信500号へ向けて無窮の天壤へ飛翔し続けられるものと確信致します。

佐藤 来

「横浜☆男性合唱団」に入団して

「赤い靴通信」400号発行とのことおめでとうございます。33年間も毎月発行とは凄いです。私がこの通信を初めて受領したのは360号からで、「横浜☆男性合唱団」に入団したのが切っ掛けでした。高校同期の大久保君、加藤君に勧められて入団したのですが、あれからもう3年以上も経つのですね！ 社会に出てからは合唱にはとんと縁が無かった私です。当初は正直練習が憂鬱でした。譜面が読めないもので、楽譜作成ソフトを購入し、耳から憶える工夫をしました。今ではこのソフトを概ね使い熟せており、何とかなっています。次女と同学年という若い長登先生の巧みなご指導により、楽しく練習に励んでいます。声が続く限り励もうと思っておりますので今後ともよろしく願います。

正津 禎男

私がシワクチャーズに入団させていただいたのは平成六・七年頃だったと思います。

初めてレッスン会場であった人形の家のあかいくつ劇場に入った時びっくりしました。年配の品の良いおしゃれな人たちが大勢いて私は気後れしたことを覚えております。その頃、団員は六百名を超えていて、雪・月・花のグループに分かれておりました。歌は今もそうですが、全て高木東六先生の作曲されたもので、指導は三田陽子先生でしたが、厳しくて「大根ぎさんでいるみたいに歌うんじゃない」「鶏ではないんだから三歩歩いて忘れるんじゃないの」とか叱られてばかりでしたが、楽しい日々でした。

テレビや新聞、雑誌等の取材も度々あり、又、年に一回は海外旅行と国内旅行(行く先の合唱団との交流演奏会)、そごうデパートでの母の日コンサート等、今思い出すとあの頃が一番華やかで活気に満ちた時代だったと思います。今はあちこちにコーラスグループが出来、シニアコーラスは高齢化して団員も少なくなつて行くのは致し方ないことだと思えます。でも私にとって「シワクチャーズ」は高齢になつてからの生きる支えであり、お友達が沢山出来たことは本当に幸せだったと思います。「シワクチャーズ」がこれからも長く続くように心から願っております。

箱島 歌子